



MEIKAI-JOEプラス・2022

第12回講座

授業研究⑥東京都狛江市
学校段階間の接続の重要性

令和4年12月13日(火)

明海大学 教授 石鍋 浩
教授 坂本 純一

本授業の意義 中教審の検討資料から

平成24年 中央教育審議会 初等中等教育分科会「資料2 小中連携、一貫教育に関する主な意見等の整理」2 小中連携、一貫教育の推進について

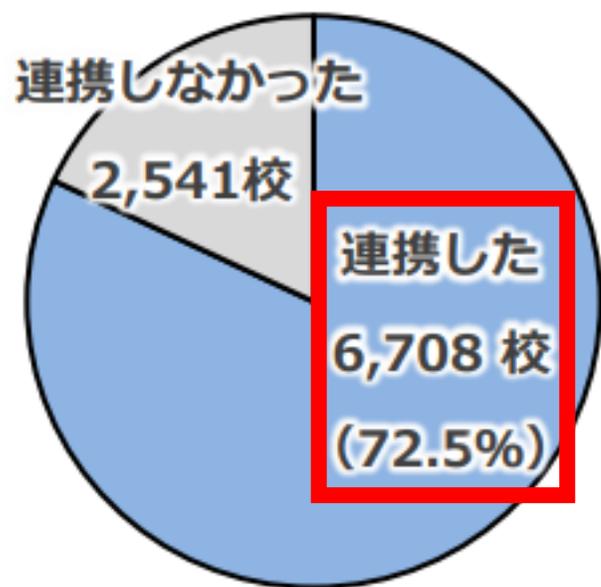
本授業では小学6年と中学1年

複数学年で合同の授業や活動を実施することにより、

- ① 異学年の児童生徒が交流することで異年齢の他者と望ましい人間関係を形成することができる。
- ② 学習への動機付けが明確になる。

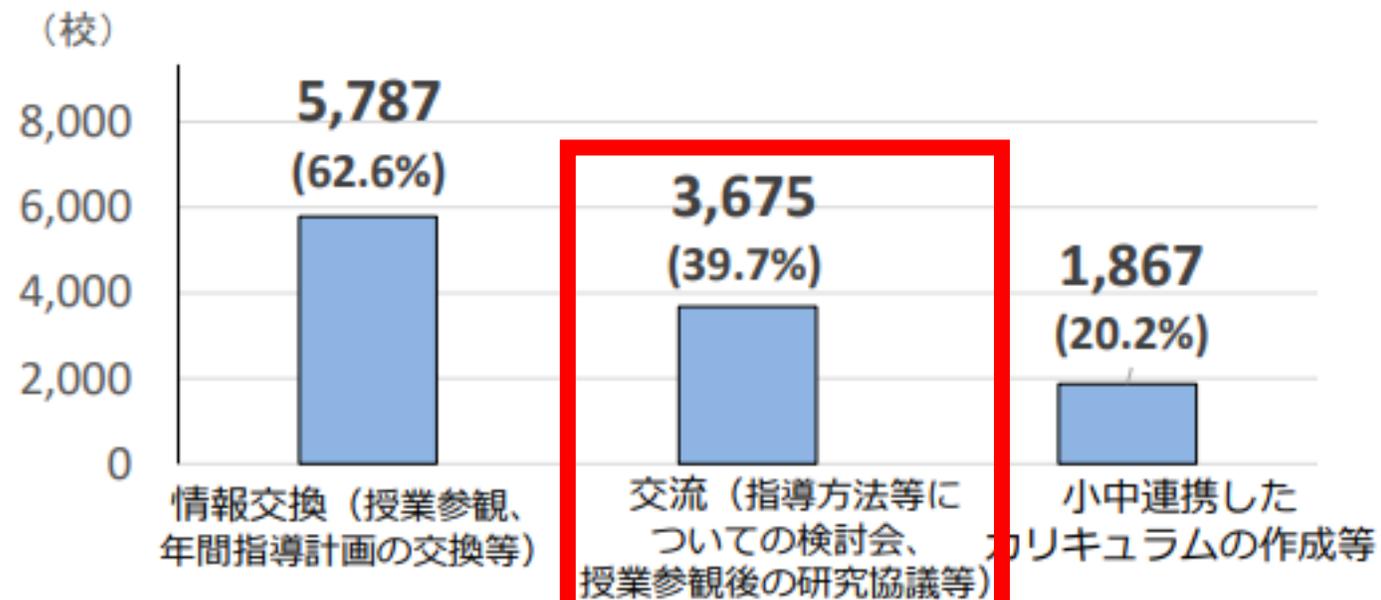
本授業の意義 令和3年度「英語教育実施状況調査」 文部科学省

小学校との連携に取り組んでいる中学校



※全体数は、調査対象の中学校9,249校。

【中学校と小学校との連携の形態】



※全学校数を分母として割合を計算。

本授業の意義 小学生にとって

中学校での英語学習への見通しがもてる

小学生は、自分も中学生になれば英語でさらにコミュニケーションができるようになるのだということを認識し、中学校での英語学習の見通しをもつことができる。

本授業の意義 中学生にとって

英語の力を一層伸ばしたいと思うきっかけになる

中学生は、小学生に教えたり一緒にになって考えたりすることを通して、自分の英語の知識を確認するとともに、英語の力を一層伸ばしたいと思うきっかけになる。

小・中連携した活動事例(中学校1年生における小学校との連携の在り方について)

「外国語教育強化地域拠点事業」～山口県光市立室積小学校・室積中学校～

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

めざす
子どもの姿

室積中学校

- ・まちがいをおそれず、自分の意見や考えを積極的に表現できる生徒
- ・英語を用いて、地域や社会と積極的に関わることができる生徒

室積小学校

- ・まちがいをおそれず、英語で思いを伝え合うことで、英語を使う喜びを味わうことができる児童
- ・英語を用いて、自分のことや友達のことを表現できる児童



「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

取組事例①

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生の
視フォー
マンスを
小学生を



【お店役とお客役に
小分かれて活動する
中学生】

「もの」の連携

小中で共通の
Classroom English

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ(児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



取組事例②

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用(授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例③

成果

・それぞれの学校で目指す子どもの姿(どんな力をつけたいのか)を共有したり、授業づくりで大切にしていること等の確認ができています。

・小・中学校ともに、授業改善に活かされている。

・学習意欲の向上とスムーズな接続につながっている。

意識調査：外国語の授業は好きですか？



■ 好きと回答した児童生徒の割合
■ きらいと回答した児童生徒の割合

★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- 1 Warm Up
- 2 Practice/Today's Goal
 - ・表現への慣れ
 - ・動くCAN-DOリストの視聴
- 3 Activity
 - ・クラスルームイングリッシュの活用
 - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
 - ・タブレット端末の活用
- 4 Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

①GOALイメージをもたせた授業展開

- ・動画によるモデルの視聴

②子どもの興味関心を大切に 授業や単元の展開

- ・地域の素材をいかした単元計画
- ・小中連携をいかした単元計画

③場の設定の工夫

- ・必然性やリアリティのある場づくり

④表現力を高めるアクティビティの実践

- (例) 1 minute talk
インタビュービンゴ etc
- 表現の定着
 - ・語彙や表現の引き出しの増加
 - ・表現の高度化と正確性

⑤振り返りカードの活用

- ・良さの共有
- ・教員やALTへの質問(知りたい表現)

今後の課題

・中学校においては、英語でのやりとりの流暢さだけでなく、英語教員の専門性をいかして、英語表現のより細かいところまでの正確さの指導が求められる。

・文字指導については、小学校からのスムーズなつながりを意識しながら、抵抗感なく取り組める指導方法を研究していくことが必要である。

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

- ・「架け橋プロジェクト」(年7回)
- ・合同の指導案づくり

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



お客様に活動する



- ・小中それぞれの教科書を教員に配布してそれぞれの理解を図る。

「もの」の連携

【教材のつながり】

ホームイングリッシュ
(生徒用)
リスト
ト
ツ

小中で共通の Classroom English



- ・池田周先生のHPを活用し、「教材・内容・指導法の共有」の視点を明確にしている。

取組

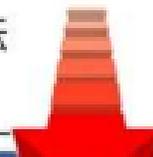
取組事例③

「方法」の連携

【授業】

- ・授業スタイル (授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例①



小学生と中学生の交流授業

- 小学生にとってメモを取ることは難しい。
- 小学生は基本的に「書き写す」ことが中心。



他の動画

ペアで自己紹介を行い、相手の話したことをメモを取る

小学校学習指導要領 外国語
第2 各言語の目標及び内容等
英語 2内容

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項①言語活動に関する事項

オ 書くこと

- (ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字，小文字を書く活動。
- (イ) 相手に伝えるなどの目的をもって，身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。
- (ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって，語と語の区切りに注意して，身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。
- (エ) 相手に伝えるなどの目的をもって，名前や年齢，趣味，好き嫌い など，自分に関する簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

学習指導要領解説から 「書く」と「書き写す」

- 「書き写す」とは、語句や文を見ながらそれらをそのまま書くことである。
- 「書く」とは、例となる文を見ながら、自分の考えや気持ちを表現するために、例となる文の一部を別の語に替えて書くことである。
例えば、自分が好きな人やことを他者に紹介する活動において、“I like baseball. My favorite baseball player is ～.”を例としながら、自分の考えや気持ちを表現するために、語順を意識しながら、baseballなどの語を替えて、“I like music. My favorite musician is ～.”と書くことである。

(ア)(エ)の「書く」活動について

(ア)文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。

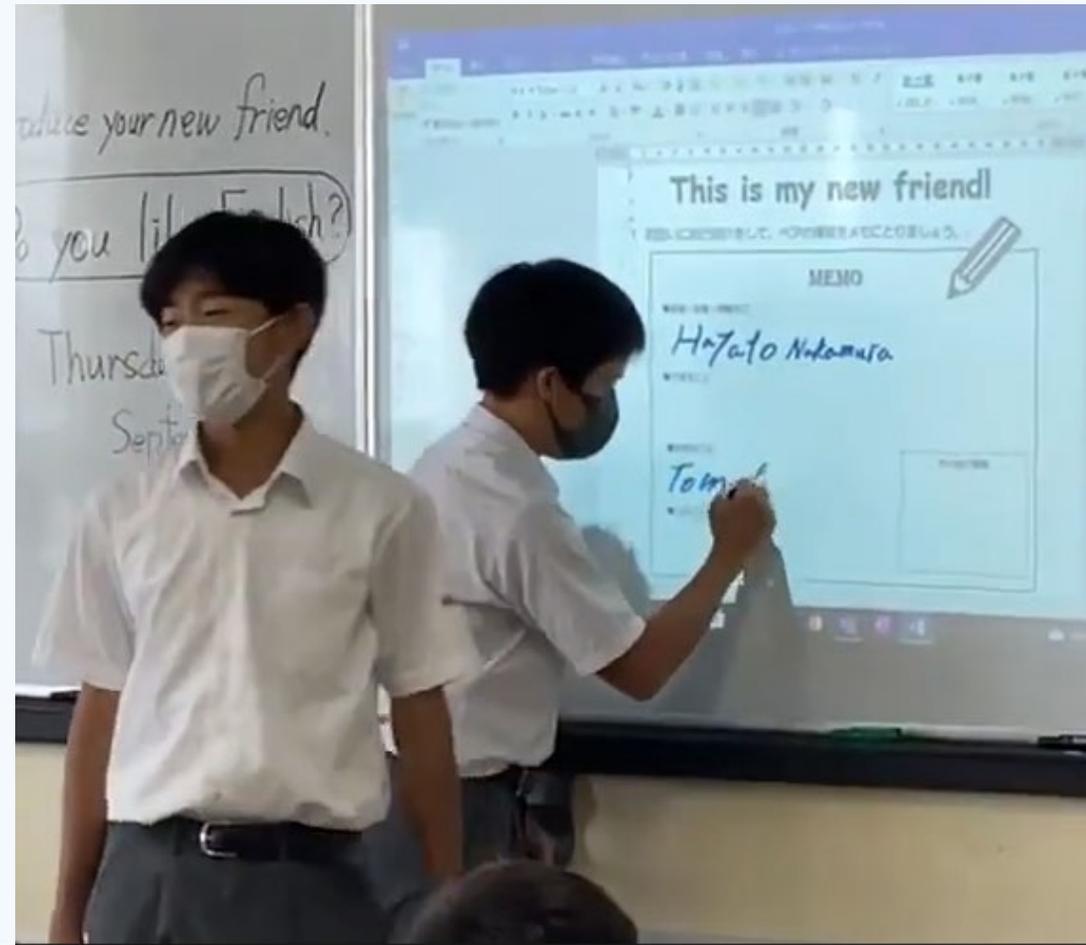
何も見ることなく児童が自分の力で書くことができるようになることを求めている。

(エ)相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

何も見ないで書けるようになる段階までは求めている。

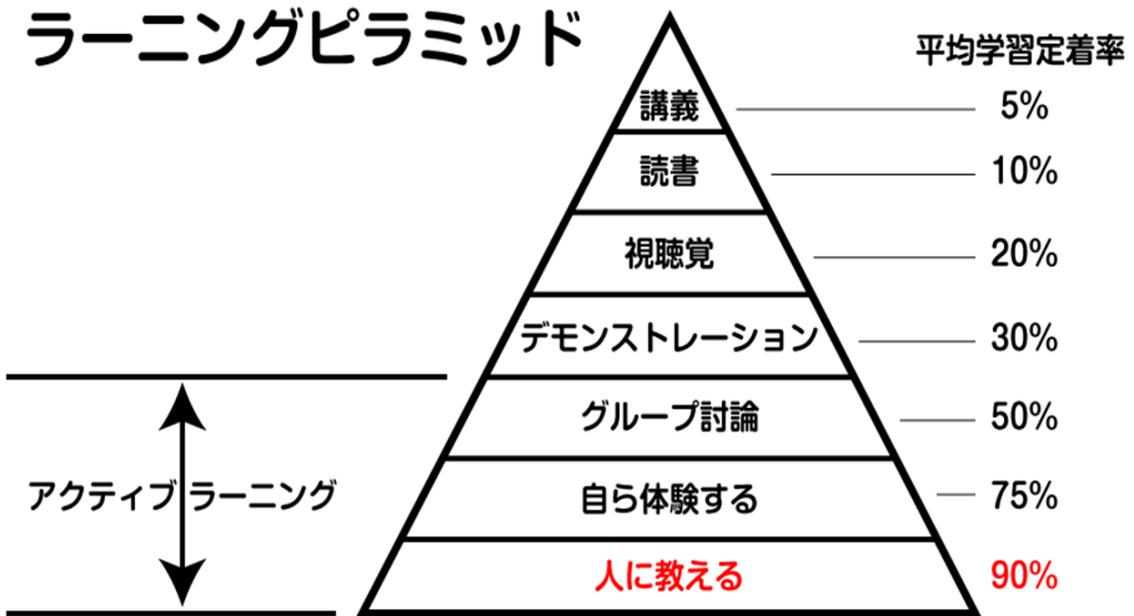
小学生と中学生の交流授業

- 中学生による「話すこと(やり取り)」のデモンストレーションも一案です。



教えることの効用

中学生が小学生に教える



出典：The Learning Pyramid National Training Laboratories

発展的な学習



ペアからグループ、グループから全体へ





小中接続の具体例

- 授業参観
- 年間指導計画の交換等
- 指導方法等についての検討会
- 授業参観後の研究協議
- 小中連携したカリキュラムの作成

+αとして（提案）

- ・中学校の教員が、小学校で出前授業をする。
- ・小中学校の教員が、お互いの学校でチーム・ティーキングをする。
- ・小中学校の教員が、合同で学習指導案を作成する。
- ・小中学校の教員が、合同でワークショップを行う。

ご清聴ありがとうございました。

